

「園芸療法で人癒やして」

景観園芸学校修了式 16人が将来に意欲



学んだ成果を発揮すべく決意を述べる古地さん（手前）ら修了生

淡路市野島常盤、県立淡路景観園芸学校の園芸療法課程の修了式が、同校多目的ホールであり、全寮制で1年間学んだ3期生16人が学習の成果を発揮すべく、飛び立った。

式では、一人ひとりに修了証が渡された後、石原憲一郎校長が「物質より心の充実が求められる時代に、こ

れまでの勤務先に復職したり、新たに高齢者福祉施設などに就職したりするといふ。

行政職員を対象にした推薦受講制度を初めて受けて学んでいた県北淡路農業改良普及センター職員古地哲弘さん(46)は「生命が宿る植物の力をどのように借り、新たに高齢者福祉施設などを学べた。今後、学んだ内容を生かせる場を作っていきたい」と意欲的に述べた。県農林水産局も「来期も新たに職員一人を学ばせる予定で、この成果を共有して行政に生かしたい」と話していた。

平成17年8月10日(水)
読売新聞朝・夕
30頁淡路版